

## 20周年記念山行（雷鳥平集中山行）

### 北アルプス 龍王岳東尾根クライミング&立山縦走

<b>【参加者】 4名（男性4名）</b>	<b>【日程・天候】 2021/9/19-21 晴</b>
<b>【コースタイム】</b> <b>9月19日（日） JR大阪→室堂</b> 室堂 — 雷鳥沢ヒュッテ（泊） (13:10) (14:10) <b>9月20日（月）</b> 雷鳥沢ヒュッテ — ノ越 — 龍王岳取りつき (6:40) (8:10) (8:40) — 龍王岳山頂 — ノ越山荘（泊） (13:30) (14:50) <b>9月21日（火） 室堂→JR大阪</b> ノ越山荘 — 雄山 — 大汝山 — 富士ノ折立 (6:50) (7:40) (8:10) (8:40) — 雷鳥沢キャンプ場 — みくりが池温泉 — 室堂 (10:50) (11:40) (13:00)	<b>【活動報告】</b> 北摂山の会20周年記念雷鳥沢集中山行に合わせ、龍王岳クライミング、立山縦走を実施した。当初、劔岳登攀も企画していたが、台風14号の影響で出発日を1日遅らせたため、劔岳登攀は断念。しかし今回、立山縦走中、富士の折立から劔岳を間近に望み、来年はクライミングで劔岳にチャレンジしたいと新たな気持ちを持つことができた。 リーダー、先輩の指導の下、蓬莱峡や百丈岩等関西の近場の岩場で練習を積み重ねてきた成果が、龍王岳クライミングで出せた。 今回アルパインクライミングを経験して、一つステップアップできたと思う。引き続きスキルアップに精進したい。



龍王岳の取りつき。足元の大きな岩にスリングを巻きつけてセルフビレイを取ります。



リーダーがリードで取りつきを慎重に登っていきます。



ピンがないので、クラックにカムデバイスを噛ませてアンカーを構築。



龍王岳中腹から東一ノ越への登山道方向を撮った写真。

クライミングの途中からガスが出始めて、視界が悪くなりましたが、暫くすると晴れたりしました。山での状況は、刻々と変化するのが実感できました。

龍王岳には途中、クライミングだけでなく、コンテとスタカットを繰り返しながら移動する岩場もありました。足場には小さな石が多く、気をつけて慎重に歩行しないと、石を落としてしまいます。

ロープを巻き取る時も慎重に行いました。



👉 龍王岳山頂にて。達成感あり！

👉 他にもクライミングしていたパーティが3つほどありました。

リーダーが最後の壁を登ります。👉



龍王岳山頂から登山道を下り、一ノ越へ下る前に小休止。

綺麗な龍王岳の写真を撮りたかったのですが、ガスが出てよく見えず。残念！



雄山頂上の雄山神社。ご祈祷も行っていました。



👉 大汝山で集合写真。皆、いい笑顔です。

👉 富士ノ折立から見えた劔岳。来年また来ます！



大走りへの分岐です。まっすぐ行けば、真砂岳。



美女平に向かう立山高原バスから劔岳を撮りました。



落差日本一の称名滝。バスからは小さくしか見えません。

今回の山行は38年ぶりの北アルプスで、どんな感じになるのか、期待と不安がありました。天候とメンバーに恵まれ、長く記憶に留まる山行となりました。来年は劔岳をクライミングで登攀するために、このメンバーでまたここに戻ってこれればと思います。